

IACOWは洋上風力の導入促進とイノベーションの創出に資する人材の輩出を目指して、地元でウインドファームを計画し展開している各地の大学と発電事業者によって形成されたコンソーシアムです。この取り組みの一つ、洋上風力分野に進む人材に必要な学術知識を整理したIACOW洋上風力連携講座が開講します。メンバーの大学間で単位互換の協定を結び、その大学に所属する学生が各大学が開講する対象の科目を履修し、単位として取得することが可能です。令和7年度は、長崎大学・秋田大学・秋田県立大学・新潟大学の4つの大学間での単位互換となっています。

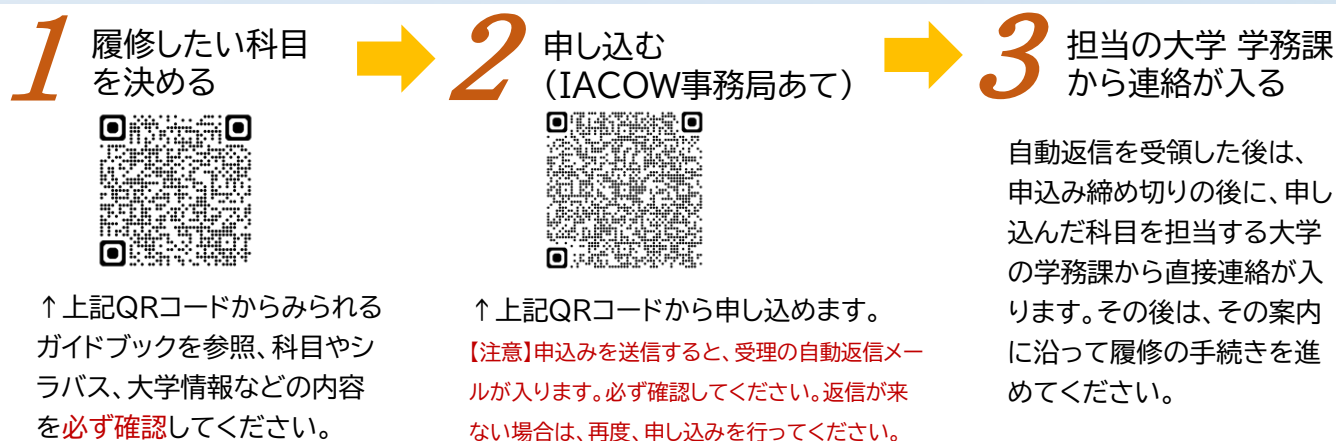
令和7年度 開講科目 (裏面参照)

風車工学(秋田県立大学)

漁業共生・ステークホルダマネジメント(秋田大学)

発電所運用・メンテナンス(長崎大学)

エネルギー政策・制度(長崎大学)



履修に関わる手続きは大学によって異なりますのでよく確認をして進めてください。

コンソーシアムメンバー



協力機関

東京大学
日本海事協会
エンジニアリング協会
世界洋上風力フォーラム(WFO)
Carbon Trust
スコットランド国際開発庁(SDI)
長崎海洋アカデミー
日本風力発電協会(JWPA)

教育連携機関

[a:教育リソース提供団体]
GE Vernova,
風力エネルギー研究所,
DENZAI
JMC Denmark
MHIベスタスジャパン
ホライズン・オーシャン・マネジメント
[b:普及・啓発・企画等連携団体]
JTB、リクルート、PLIJ

お問合せ先 / IACOW事務局

✉ iacow_jim@ml.nagasaki-u.ac.jp ☎ 095-800-4135
〒852-8521 長崎市文教町1-14 総合教育研究棟12階OICN拠点
国立大学法人長崎大学 研究開発推進機構 OICN拠点

HP⇒



科目名:風車工学/Wind Turbine Engineering

シラバス [【シラバスを確認する】](#)

対象学生 大学院 1、2年次

履修申込締切 2025年4月9日(水)

※4月25日(金)まで受け付け可能です。

Syllabus Inquiry



開設大学	秋田県立大学
担当教員	杉本 尚哉
開講期間	4月14日(月)～8月4日(月)
曜日	月曜日 ※第4回は祝日のため5月7日(水)へ振り替える。
時限	3時限(12:50-14:20)
単位	2単位
開催方法	対面もしくはオンライン ※オンデマンドはありません。
試験・評価方法	本講義の内容について、考えや感想をまとめたレポートにより評価する。

科目名:漁業共生・ステークホルダマネジメント
Symbiosis with fishery/Stakeholder management

シラバス [【シラバスを確認する】](#)

対象学生 大学院 1年次

履修申込締切 2025年6月17日(火)

Syllabus Inquiry



開設大学	秋田大学
担当教員	三島 望
開講期間	前期集中(8月～9月を予定)
単位	2単位
開催方法	オンデマンド 注)講義の実施は原則としてオンデマを予定しているが、一部ライブ型オンラインでも行う。ただし、最終回(第15回)のみは対面とライブ型オンラインのハイブリッド形式で行う。
試験・評価方法	講義中に課すレポート課題、最終回の事例研究発表に向けての調査、発表資料作成、事例研究における発表、質疑により評価する

科目名:発電所運用・メンテナンス/Offshore wind operations and maintenance

シラバス [【シラバスを確認する】](#)

対象学生 大学院 1、2年次

履修申込締切 2025年4月23日(水)

Syllabus Inquiry



開設大学	長崎大学
担当教員	内堀 洋
開講期間	6月12日～7月31日(第2クオータ)
曜日	木曜日
時限	4時限(14:30～16:00)
単位	1単位
開催方法	対面、オンライン、オンデマンド
試験・評価方法	毎回、授業レポートを提出し、それを元に成績評価を行う。試験はない。

科目名:エネルギー政策・制度/Renewable Energy Policies and Frameworks: Focus on Offshore Wind

シラバス [【シラバスを確認する】](#)

対象学生 大学院 1、2年次

履修申込締切 2025年4月23日(水)

Syllabus Inquiry



開設大学	長崎大学
担当教員	坂口 大作、森田 孝明
開講期間	12月3日～2月4日(第4クオータ)
曜日	水曜日
時限	1時限 (8:50～10:20)
単位	1単位
開催方法	対面、オンライン、オンデマンド
試験・評価方法	各自の関心がある今後の論点 もしくは、自分が深掘りしたい技術テーマについて、レポート作成し提出する。